

議題第1号 各ワーキンググループにおける令和2年度の取組について（報告）

(1) 在宅医療・介護連携部門ワーキンググループの取組について

第1回在宅医療・介護連携部門ワーキンググループ

ア 在宅医療・介護連携の市民向けガイドブックの印刷について

(ア) 構成について

現在のガイドブックは、住所別に医療機関や介護サービス提供事業所が一覧となっている。そうした形ではなく、市民の方が自分の目的に沿って希望する医療機関等が探せるよう、事務局が中心となって構成を変更することとした。

ガイドブックの構成方法について、市民へアンケートを取り、いただいたご意見を反映させる。そのため、(2)に明記したアンケート調査票にて、質問項目をつくった。

以上の手続きを経て、別紙のとおり新たな「在宅医療・介護関係者資源リスト」を作成した。

(イ) 配布方法について

当初はガイドブックの全戸配布を予定していた。しかし、総ページ数が32頁と多いことから、令和3年1月上旬、予算の範囲内で印刷して公共施設の窓口へ配架という周知方法を検討する旨、事務局がワーキンググループ委員へ周知した。

(ウ) 今後の予定について

- ①本日の会議でのご意見を踏まえ、事務局から掲載機関へ照会をかける。
- ②①の修正等を経て、印刷製本。
- ③完成したガイドブックを、市内公共施設等へ配架する。

イ 在宅医療・介護連携に係るアンケート調査

別紙「集計結果」のとおり取りまとめた。

<アンケート調査の経過>

時期	対応
令和2年 9月上旬	<p>当初は、区長回覧により全戸配布とする予定だった。しかし、庁内にて、アンケートの回答方法が市や関係機関へ持参するという形だと回答が得られなかったり、苦情等が入ったりする可能性があるといった意見が出た。</p> <p>そのため、在宅医療と在宅介護を利用していることが想定される、要介護1以上の認定を受けた方を対象とし、無作為抽出にてアンケート調査を実施する形に変更することとした。</p>
令和2年 9月下旬	<p>事務局がアンケート調査票の素案を作成し、事務局からワーキンググループ委員へ送付。意見を聴取する。その際、対象者を要支援1以上の認定者の中から無作為抽出した方に修正する旨、周知。</p>
令和2年 11月上旬	<p>ワーキンググループ委員から聴取した意見を元に、アンケート調査票を改訂。事務局がワーキンググループ委員へ再度確認を依頼し、意見を聴取する。その際、対象者を要支援1以上の認定者の中から無作為抽出した600名に修正。</p>
令和2年 12月下旬	<p>事務局がアンケート調査票の郵送に係る補正予算を確保。</p>
令和3年 1月上旬	<p>対象者へ送付するアンケート調査票の最終版を作成。ワーキンググループ委員へ最終確認を依頼。</p>
令和3年 1月22日	<p>事務局が、アンケート調査票を上記600名に送付。回答締め切りは2月15日とした。その旨、事務局がワーキンググループ委員へ周知。</p>

(2) 認知症施策部門ワーキンググループの取組について

第1回認知症施策部門ワーキンググループ

ア 講演会について

第1回在宅医療・介護連携推進会議にて、本年度は認知症施策部門ワーキンググループにて講演会を開催するということとなり、新型コロナウイルス感染症の流行のため、開催方法等検討をしたが、事務局判断により本年度の開催は中止とした。

イ 認知症ケアパスの改訂について

認知症ケアパス(A3版とA5版「あったかふつつ認知症サポートガイド」)の内容の見直しについて、意見を出し合い、事務局にて別紙のとおり(案)を作成した。修正箇所については以下のとおり。

(ア) A3版

ページ右側、「認知症の段階」の「重度」の状態の「家族の気持ち」について、「症例があっても家族の一員として」を削除し、「認知症に対する理解が深まって」に変更。

(イ) あったかふつつ認知症サポートガイド

- ① サイズをA5からA4に変更
- ② 「認知症早期発見のチェックリスト」を千葉県作成の「認知症チェックリスト」に差替え。
- ③ 「早期診断」を「早期対応」に変更。
- ④ 「認知症のことを相談できるところ」を最新版に変更。
- ⑤ オレンジカフェ(認知症カフェ)の記載。

ウ 認知症メモリーウォークについて

令和2年10月11日の開催に向け、5月・6月に実行委員会議を実施し、事務分担等を行った。しかし、多くの高齢者の参加も見込まれることから、新型コロナウイルス感染予防のため本年度の開催は中止とした。実行委員会のメンバーは変更せず、来年度での開催に向け、4月以降実行委員会にて開催方法や開催時期について、再度検討をしていく予定。

エ 認知症サポーター養成講座修了ステッカーについて

本市では3,000人を超える認知症サポーターがいるが、どこにサポーターがいるのかわからないのが現状である。そのため、認知症サポーターがいることが一目でわかるようなポスターやステッカーの作成について検討。まずは認知症サポーターやオレンジリングの周知を図る必要があるとの意見があったため、広報ふつつや区長回覧等で周知を図っていく予定。

議題第2号 その他…下記シート等の活用状況に係るグループワークを予定

(1) 君津圏域医療・介護多職種連携エチケット集の活用状況について

木更津市、君津市、袖ヶ浦市及び当市にて、「切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築」を目指し、医療・介護の関係者がよりスムーズに連携できるよう、作成したものです。

医療・介護の関係者それぞれが業務を行っていくうえでの基本的なエチケットをはじめ、医師への連絡や急変に備えた対応について等、連携にあたって抽出された課題への対応をエチケットとして定めています。

ア 作成したことがありますか。または、受領したことがありますか。

イ 改善してほしい箇所等のご意見等がありますか。

(2) 千葉県地域生活連携シートの活用状況について

医療と介護サービスをスムーズに提供する事を目的に、居宅介護支援事業所や介護老人福祉・保健施設等の（ケアマネジャー）と病院の担当者、かかりつけ医、訪問看護師等が利用者（患者）の情報を共有するための千葉県参考様式です。

なお、介護報酬の「入院時情報連携加算」及び「退院・退所加算」の算定にも活用できます。

また、診療報酬の「入院時支援加算」「入退院支援加算」「介護支援等連携指導料」「退院時共同指導料」等の関係職種間の情報共有にも活用できます。

ア 作成したことがありますか。または、受領したことがありますか。

イ 改善してほしい箇所等のご意見等がありますか。

(3) オレンジ連携シートの活用状況について

認知症支援に携わる様々な専門職が、支援に必要な情報を共有しながら、必要に応じて助言依頼・意見交換なども行うことができ、県内全域で利用可能なツールです。

ア 作成したことがありますか。または、受領したことがありますか。

イ 改善してほしい箇所等のご意見等がありますか。

別表 グループワーク議題：各シート等の活用状況

	作成したことがあるか	受領したことがあるか	改善してほしい箇所等 のご意見
君津圏域医療・介護多職種 連携エチケット集			
千葉県地域生活連携 シート			
オレンジ連携シート			